

集会案内

日曜日

礼拝 1:45pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokyokai.org

榑原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714) 234-4778

Eメール: sugimura1950@gmail.com

◎石叫■

「み名のために」

詩篇七九篇には、「われらの救の神よ、み名の栄光のためにわれらを助け、み名のためにわれらを救い、われらの罪をおゆるしくください」(9節)とある。

これは聖都エルサレムが異邦人によって踏みじられ、荒れすたれた時の嘆きの祈りであり、それはイスラエルにとって、耐えがたい屈辱であった。

人類の歴史は、隣国からの攻撃も去ることながら、神を信じる者同士が互いに争ってきた嘆かわしい歩みでもあった。例えば、ウクライナ侵攻を正当化させるために、プーチン大統領が睨みを効かせている中で、ロシア正教の大祭司が祈りを捧げている。一方、ウクライナでは、イースターに十字を切って神に祈りを捧げているシーンをニュースで見た。この両者の祈りを神はどのように聴かれるのだろうか。とかく私たちは自分のため、自国のために神に祈りを捧げる。人類の歩みはこうした祈りを絶えず捧げてきた悲しい歴史でもある。

だが「み名のため」という祈りは、神のみ旨にかなったものでなくてはならない。聖書を外れて神が聴かれるはずはないからである。聖書の中で最も大切な命令である「自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ」(マタイ二二・39)は、自分が神から命をいただき、愛され、赦され、励まされているように、隣人も同様に、神の愛の対象であることを忘れるな、という意味である。だが、歴史上、国家のリーダーたちがこのみ言葉を実践することはあまりない。

あまりと言ったのは、このみ言葉を実践した人物がいたからである。その一人が蒋介石総統である。終戦を迎えた一九四五年八月15日、天皇陛下の玉音放送一時間前のこと、彼は四川省の重慶で、ラジオを通じて全中国人民に呼びかけた。「なんじの敵を愛せ」という聖書の言葉を引用し、「日本人を痛めつけたり、傷つけたりしてはならない。そうすることは私が決して赦さない」と言って、彼は一銭の賠償も求めず、中国本土にいた二百万の日本人兵士とその軍属をそのまま無傷で返したのである。それは彼が心から尊敬するクリスチャンの賀川豊彦がいたからであり、彼がいる限り日本に復讐はできないというのであった。「み名のため」という祈りは、「自分を愛するように隣り人を愛せよ」というお言葉を抜きにしてはあり得ない。このみ言葉の実践こそ平和の鍵である。 Rev. Tsukasa Sugimura

【わたしたちの教会の歩み】

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、榑原宣行牧師、加藤伸江姉、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをしております。

【ミッション ステートメント】

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。